

全国大学書道学会 報

32

令和6年(2024)
6月1日発行
全国大学書道学会

機動力のある学会を目指して

理事長 永由徳夫

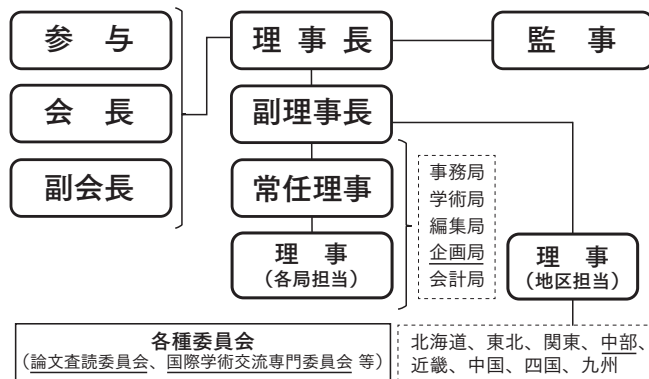
新体制が発足しましたが、会員の皆様には、旧に倍するご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。今期(二〇二四年四月〜二〇二六年三月)、本学会で取り組んでまいりたいことを列記いたします。

- 一、学会誌『大学書道研究』の質的拡充
 - 二、学術的成果及び学会運営に対する顕彰の検討
 - 三、台湾との国際学術交流の実施
 - 四、国内研修の企画立案
 - 五、「長期会員優遇措置」の円滑な運用
- 一については、論文査読委員会を設置し、より機能性を高め、質的拡充を図ります。二はこれと関連しますが、学術的に高い成果を挙げた会員、多年に亙り学会の運営に尽力された会員に対する顕彰について検討いたします。三は創立六十五周年記念台湾研修旅行を契機に、台湾側から熱的な学術交流の提案があり、本学会としても活動の枢軸としてまいります。既に国際学術

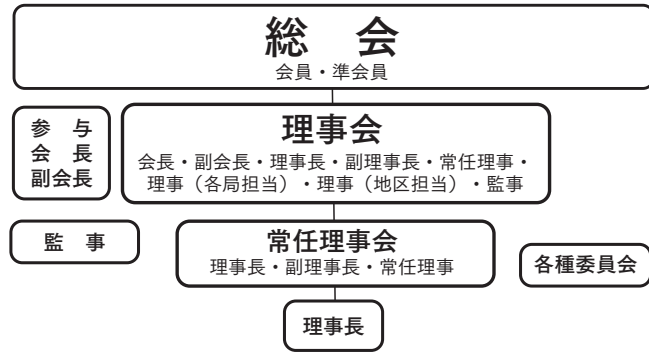
全国大学書道学会 組織図 (2024年度～)

会務分掌

※下線は新設



運営体制



交流専門委員会を立ち上げて準備を進めており、本号に学術交流台湾旅行のご案内を載せました。四は企画局を新設し、先期好評を博した研修の機会を引き続き提供します。五については、長期ご協力いただいた会員の労に報い、未永く本学会のためにご指導願いたく、今年度より運用を開始いたします。この度、より機能的な学会運営を行うべく組織を一部改めました。「組織図(会務分掌・運営体制)」をご覧ください。役員一同、機動力ある学会を目指して尽力してまいりますので、皆様の積極的なご参加をお願い申し上げます。

京都・奈良、愛媛での研修と所感

副会長 神野 雄 二

本年、二回に亘り、京都・奈良と愛媛に出張研修を行った。用務は美術館や博物館、大学、寺院などに収蔵される書道と美術の資料・文献を調査し、研究を進めることにあった。また、研究資料・文献を蒐集することだった。その報告と所感を述べる。出張先の主な訪問先を羅列する。後、この中で、特に印象深かった研修に関して、所感を述べる。

①出張期間・二〇二四年二月二十七日(火)～三月二日(土)

用務先・「八百三」「何必館・京都現代美術館」「建仁寺」「法隆寺」「奈良市杉岡華郵書道美術館」「入江泰吉旧居」「古梅園」「京都市学校歴史博物館」「浄光寺」他

②出張期間・二〇二四年三月二十六日(火)～三月二十九日(金)

用務先・「坂の上のミュージアム」「古本の愛媛堂」「三津浜港」「松山市立子規記念博物館」「日尾八幡神社」「一草庵」他

「八百三」

八百三は、享保十二年(一七二七年)創業の柚味噌販売の老舗である。ここには、魯山人の刻書の大作「柚味噌」がある。何度拝しても、息を飲むほど感動する。力強く、また美しい。「はつり」の妙は、篆刻家山田正平と同様、刻書美の極致に至っている。「何必館・京都現代美術館」は、魯山人の陶芸や刻書を収蔵する。魯山人の芸術の根幹は書にあり、書的美を深く理解していた。

「建仁寺」

細川護熙氏が奉納された襖絵が公開されていた。雅印は、拙刻のもので、改めて篆刻は使用されて、より生きるものだと、思いを強くした。

「法隆寺」

境内に会津八一の歌碑が建立されていたが、残念な点は、機械彫りと思しきものであった。八一生前であれば、手彫りさせたであろう。また、正岡子

規の歌碑「柿食えば鐘が鳴るなり法隆寺」があった。折しも、鐘が打ち鳴らされ、音は、耳朶に残った。

「浄光寺」

池大雅の墓碑がある、高芙蓉の碑面題字、側面に大典撰文・韓天寿の筆になる銘文が刻されており、まさに名碑である。東京の天徳寺にある高芙蓉碑とともに永く伝えてほしい。

「京都市学校歴史博物館」

同館は、京都市の学校に遺された歴史教育資料(教科書・文献資料・教材・教具等)と美術工芸品(絵画・書跡)を収集・保存し、展示を行っている施設である。筆者はかつて、江戸以降の書写・書道の教科書を調査したが、同館の資料を研究し「書写書道教科書に関する基礎的研究―京都市学校歴史博物館の取り組みと所蔵品を中心に―」(『書写書道教育研究』(第二〇号))として発表した。

「坂の上のミュージアム」

松山市にある博物館。同市が取り組んでいる司馬遼太郎の小説『坂の上の雲』を軸とした二十一世紀のまちづくりの中核となる施設である。地方の事を研究するならば、現地に赴き、その空気を吸い、現地での調査は欠かせない。人と風土は、切っても切れないものである。関連の出版物も、現地でしか購入できないものも多い。筆者はかつて恩師から「文は足で書け」と教えられた。

「松山市立子規記念博物館」

俳人正岡子規を記念し開館。彼の俳句の素晴らしさは、言うに及ばないが、晩年の「病床六尺」など四大随筆は、珠玉の作品であろう。

「日尾八幡神社」

三輪田米山出生。浅海蘇山氏の名著『米山人と書』出版後、同氏のご自宅で、加筆修正がびっしりとされた、本著を拝見したが、研究者の執念を垣間見た。

「一草庵」

種田山頭火終焉の地。自由律俳句の俳人山頭火の日記などにあらわれた、彼の美に対する感性の豊かさには驚かされる。

全国大学書道学会 第66回令和6年度(福岡)大会 開催要項(第1次案内)

下記の要領で、全国大学書道学会第66回令和6年度(福岡)大会を開催します。ふるってご参加、研究発表のご応募、会員書作展へのご出品をいただきたくご案内申し上げます。

- | | |
|---------|--|
| 1) 主 催 | 全国大学書道学会 |
| 2) 開催大学 | 福岡教育大学 |
| 3) 開催日 | 令和6(2024)年9月21日(土) |
| 4) 大会会場 | 福岡教育大学教育学部 (〒811-4148 福岡県宗像市赤間文教町1-1) 特I教室 |
| 5) 参加費 | 3,000円 * 準会員(大学院生)は2,000円(予定) |
| 6) 日 程 | (予定 * 発表件数により変動する場合があります。) |
| | 9:30 受付(107教室前) |
| | 9:30~10:30 開会式・総会(以下、特I教室) |
| | 10:30~12:10 研究発表(1) |
| | 12:10~13:10 昼 食 |
| | 13:10~14:50 研究発表(2) |
| | 15:00~16:20 大会記念講演 |
| | 16:30 閉 会 |

7) 研究発表の募集

大会における研究発表を希望する会員(準会員を含む)は、下記を確認の上、発表要旨を期日までに事務局長宛に郵送またはE-mail添付ファイルにてお送りください。内容は未発表のものに限ります。なお、共同研究の場合、発表者以外の方が会員でない場合も発表は可能です。研究発表は、発表用レジュメ・パワーポイント等を利用して行っていただきます。**発表用レジュメ(100部)は、9月13日(金)必着**で開催大学担当者宛に送付願います。

①発表要旨

- ・要旨には、研究の意義・ねらい、方法、結論等を簡潔に記してください。
- ・体裁：word文書A4標準設定、縦置き縦書き、上下2段組。1段は、縦33字、横23行、10.5ポイント。書式はホームページ(<http://all-shodo.jp>)>「会員への情報」からもダウンロードできます。
- ・要旨は上段に記載し、最初の4行に、タイトル、所属機関名及び役職・発表者氏名(共同研究の場合は全員)を記し、本文は500字以上627字(19行)以内、全23行以内としてください。
- ・下段には、発表者氏名、郵便番号、住所、電話(FAX)番号、E-mailアドレスを付記してください。

②申込締切 7月10日(水)必着

- ③送付先 〒247-8512 神奈川県鎌倉市大船6-1-3 鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科
TEL 0467-33-8211 E-mail: sgym-hyt@kamakura-u.ac.jp
全国大学書道学会 事務局長 杉山 勇人 宛

8) 学会誌への投稿

- ・学会誌への投稿の期日・方法等については、現在検討中です。大会2次要項(8月送付)をご参照ください。
- ※本年度大会において研究発表をされた方が、本年度発行の学会誌に投稿される場合は、再度の論文要旨の送付・投稿申し込みは必要ありません。なお、次年度以降に発行される学会誌に投稿される場合は、所定の期日までにあらためて論文要旨を送付し、投稿を申し込んでください。

9) 会員書作展

会員作品展を以下のように開催いたします。

※本年度の会員書作展の作品は、福岡大会(2024年9月)での展示の後、台湾との学术交流・書作展(2025年3月予定)にも展示いたします。ご了解の上、ふるってご出品ください。

詳細は、同封別紙の出品要項をご覧ください。

- | | |
|----------|---|
| (1) 会 期 | 令和6年9月20日(金)~9月22日(日) 9:00~18:00(最終日は17:00まで) |
| (2) 会 場 | 福岡教育大学 (〒811-4148 福岡県宗像市赤間文教町1-1) 学生会館内大集会室 |
| (3) 協賛費 | 7,000円 |
| (4) 作品規格 | 同封別紙「全国大学書道学会会員書作展出品要項」でご確認ください。 |
| (5) 内 容 | 自由 |
| (6) 送付期日 | 8月9日(金)必着 ※協賛費を払込の上、作品、出品票を同封のこと |
| (7) 送付先 | 〒811-4148 福岡県宗像市赤間文教町1-1 福岡教育大学教育学部 服部 一啓 宛
TEL 0940-35-1434 |

- * なお、協賛費は郵便振替口座払い込みとなります。今回同封の払込取扱票（赤色）を使い、年会費と併せて払い込んでください。（過年度年会費未納の方は、別送の払込取扱票にて年会費とともにお支払いください）。
- * 出品作品は書作展および台湾との学术交流・書作展（2025年3月予定）の後、開催大学にご寄贈いただくこととなりますので、ご了承ください。

10) 大会記念講演 講師 富田 淳 先生（九州国立博物館館長）
演題 調整中

11) 三学会合同懇親会

三学会合同の懇親会を開催いたします。ふるってご参加ください。

日 時 9月21日（土） 17:00～19:00
場 所 福岡教育大学 学生会館内ルーチェ食堂
会 費 会員 5,000円 準会員（大学院生） 4,000円

12) 理事会【オンライン開催】

日 時 9月15日（日） 19:00～20:30 ※理事の皆様には別途ご連絡いたします。

13) 大会会場への交通・宿泊・昼食について

- 〈交 通〉 ◆JR小倉駅からの場合…鹿児島本線下り博多方面普通電車に乗車（約45分）
または、特急・快速に乗車し、黒崎、折尾駅で普通電車に乗り換え（約35分～40分）
→教育大前駅下車、徒歩（約10分）
◆JR博多駅からの場合…鹿児島本線上り小倉方面普通電車に乗車（約50分）
または、特急・快速に乗車し、赤間駅で普通電車に乗り換え（約30分～40分）
→教育大前駅下車、徒歩（約10分）
※特急電車の場合、赤間駅を通過する場合がありますので、ご注意ください。
- 〈宿泊・昼食〉 各自ご手配願います。近隣には食堂・レストラン等はありません。駅前にコンビニがあります。

【お問合せ】 ・研究発表、学会に関するお問い合わせ

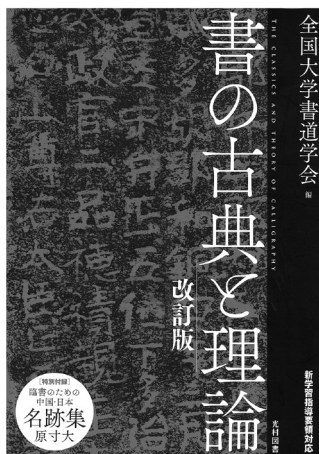
全国大学書道学会事務局
（杉山勇人／鎌倉女子大学／E-mail：sgym-hyt@kamakura-u.ac.jp／TEL 0467-33-8211）

・大会に関するお問い合わせ

開催大学担当
（和田圭壮／福岡教育大学／E-mail：wadakei@fukuoka-edu.ac.jp）

本学会と併せて、下記の学会等が開催されます。（参加費はそれぞれに必要です）

- * 9月20日（金） 13:00～16:00 日本教育大学協会全国書道教育部門
* 9月22日（日） 9:30～16:10 全国大学書写書道教育学会



『書の古典と理論 改訂版』好評発売中

全国大学書道学会 編
定価：2,200円
A4判、184ページ、四色刷り／ISBN978-4-8138-0266-2

「古典編」「理論編」「資料編」の3編で構成された「書」の総合テキスト。オールカラーで、新学習指導要領にも完全対応。巻末に切り離し可能な原寸大の「臨書のための中国・日本名跡集」が添付。

お求めは全国の書店またはオンライン書店から。

新役員紹介

今年度より常任理事、理事をお引き受けいただいた方より、「好きな一文字」というテーマでご寄稿をいただきました。(掲載五十音順)

新理事(学術局/中国地区理事)

拜命を受けて

安田女子大学 井田 明宏

この度、学術局理事を拜命しました、安田女子大学の井田でございます。若輩者ゆえ、至らぬ点多分にございですが、職務を全うすべく、精一杯務める所存です。ご指導賜りますよう、何卒よろしくお願いいたします。

さて、私の「好きな一文字」とのお題、張遷碑より「廣」字を挙げさせていただきます。私にとって張遷碑は、高校生の頃より親しんできた縁の深い古典です。書の楽しさ、難しさ、奥深さ、あらゆることを張遷碑から学びました。張遷碑のように細かなことにとらわれない、天衣無縫の表現ができればと願いつつ、日々の学書に励んでいます。



張遷碑より

新理事(事務局/関東地区理事)

ご挨拶

東京学芸大学 城間 圭太

本年度より事務局及び関東地区担当理事を拜命いたしました、東京学芸大学の城間圭太と申します。至らない点もあるかと存じますが、ご指導ご鞭撻のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

この度「好きな一文字」とのお題をいただきました。特に印象深い一文字として、歐陽詢「九成宮醴泉銘」の中の「始」を挙げます。私は高校入学後に古典の書の学習を始めましたが、一番最初に臨書したのが「九成宮醴泉銘」の「始以武功壹海内、：」から始まる一節でした。特に冒頭の「始」の字は、その頃の気持ちを思い出させてくれます。



欧陽詢「九成宮醴泉銘」より

新理事(企画局)

宜しくお願いいたします

二松學舎大学 関 俊史

この度新たに理事を拜命いたしました二松學舎大学の関と申します。身に余ることにて甚だ不安ばかりでございます。至らぬ点多々あるかと存じますが、諸先生方におかれましてはどうぞ御指導御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さて、わたしの好きな一文字は、空海「風信帖」の「風」です。高校生の時分にとある先生が、「この「風」の趣きと形を全くそっくりに書ければ、「風信帖」はマスターしたと言っている」と教えてくださいました。それから何度か「風信帖」の全臨をするも、この「風」が決まらず、一字目で挫けることが多々あります。字形、線質、線の深さ、どれを取っても未だに納得いく形で臨書出来た試しはないのですが、わたしにとつて非常に印象深い一字です。



空海「風信帖」より

新理事(北海道地区)

よろしく申し上げます

北海道教育大学岩見沢校 土井 伸也

この度、北海道地区理事をとお話をいただき、力足らずではありますが、北海道教育大学岩見沢校 土井伸也でございます。

大学組織に勤め出してまだ三年目であり、かつ、北の果て豪雪地帯での勤務。生来の気の利かない性格もあり、毎日の勤務に追われる生活を送っています。皆様の足をひっぱらないようにしていけるか不安でしかありません。

私自身の不断の勉強不足を呪うばかりですが、現代における書の文化の継承、書表現の面白みを次代へ繋げるために考えていくことは多いと思っております。少しでもこのことに寄与できる人間でありたいと思います。ご指導のほど何卒よろしく申し上げます。



鄭長猷造像記より

新理事(学術局)

ご挨拶

相模女子大学 早川 桂央

この度全国大学書道学会の理事の任を拝命いたしました、相模女子大学の早川桂央と申します。微力ではございますが、精一杯務めて参る所存です。

私が全国大学書道学会の末席に身を置かせていただいたのは平成三十年のこと、学会創立六十周年記念企画の台北研修旅行に滑り込む形で会員になりました。私にとっては初の海外旅行でもあり、親鳥のうしろにつく雛鳥のごとく諸先生方についていったことを今でも覚えています。六十五周年の台湾研修旅行も然り、書に関する講演会も然り、本学会では個人では得ることのできない学習の機会を賜ることが多く、ありがたいと思っております。少しでも恩返しができますよう精進して参ります。何卒宜しくお願いいたします。



張瑞図「後赤壁賦」より

新任理事(会計局)

ご挨拶および藤原行成の書

東京藝術大学 柳田さやか

この度は掲題の任務を拝命し、ご挨拶申し上げますこととなりました。私は近代を中心に日本書道史の研究をしています。現在の関心分野は和様の書、書の美学・芸術学の構築過程です。

好きな書は多くありますが、中でも和様の書を築いたといわれる三跡の書、伏見天皇や尊円親王の書が気にかかっています。図版は藤原行成筆『白氏詩巻』の終盤にさしかかる辺りの「巻」。繊細で静謐な趣を湛えた中盤に比べ、徐々に伸びやかさが増して渴筆も現れ始める部分です。本字は右払いの筆遣いの揺れと止めに特徴があります。

なお、現在放映中の大河ドラマ「光る君へ」では行成が折々に登場します。行成が漢字と共に仮名を認める場面など、書をめぐる描写に注目しています。



藤原行成『白氏詩巻』より

年会費納入のお願い

本学会の年会費について、同封の払込取扱票(赤色)により、8月9日(金)までに納入くださるよう、お願いいたします。

〈昨年度まで完納されている会員〉

* 年会費は、会員6,000円、準会員(大学院生)5,000円です。準会員は、大学院修了後、会員資格として取り扱います。(但し、大学院修了とともに退会を希望する場合は、必ず推薦者の了承のもと、事務局に退会を申し出てください。)

〈昨年度までに未納分がある会員〉

* 未納分のある方には、その旨を記載した「払込取扱票」を同封しておりますので、そちらで本年度分と合わせて納入ください。

〈長期会員優遇措置が適用された会員〉

* 3月末までにご申告いただき適用が認められた方には、「往復はがき」「払込取扱票」のいずれかまたは双方を同封しておりますので、そちらの記載に基づきご対応ください。
* 本優遇措置については、同封資料と会報第31号をご覧ください。適用を希望される未申告の方、また申告済みで上記同封物にその旨の記載がない方は、7月末までに下記へお申し出ください。

■口座番号 00110-9-613810

■加入者名 全国大学書道学会

(全国大学書道学会 会計局) 〒305-8574 茨城県つくば市天王台1-1-1

筑波大学芸術系 尾川研究室内

TEL/FAX 029-853-2717 E-mail ogawa@geijutsu.tsukuba.ac.jp

第一回国際学術交流(台湾)旅行団参加第一次案内

昨年度は全国大学書道学会創立六十五周年を記念して、台湾研修旅行を実施しました。その折に台湾側より学術交流を行いたいとの熱心なご提案を受け、本学会でも常任理事会で協議した結果、この提案に賛同し、国際学術交流専門委員会(特別委員会)を立ち上げました。

目下、二〇二五年三月末に、台北において、全国大学書道学会、国立台湾芸術大学を主催者とし、中華民国篆刻学会、中華民国書道教育協会の共催とする国際学術交流を開催し、さらに昨年度の台湾研修旅行では訪問できなかった場所を中心に、研修も兼ねる企画を計画しました。

その概略を説明しますと、三月二十七日(木)、羽田空港から空路松山(台北)空港へ入り、何創時書法芸術基金会で明清書画の特別閲覧を実施し、近くにある書道用品店の蕙風堂でショッピングを楽しみます。

二十八日(金)は午前に國立故宮博物院を見学し、午後台湾芸術大学にて書法展開会式を行い、その後移動して台北駅近くで日台の研究者、書家による交流会(祝宴)を開催します。

二十九日(土)は台湾芸術大学において一日、書法シンポジウム(台湾の研究者、会員による研究発表八本程度)を開催します。会員発表者については国際学術交流専門委員会により今後選定します。休憩時には書法展も鑑賞することもできます。

三十日(日)は中央研究院歴史語言研究所歴史文物陳列館を鑑賞し、免税店に立ち寄り、松山(台北)空港から羽田空港へ向かう予定です。

今回の旅行にあたっては、第一次案内で参加希望者を把握して旅行団の規模を確定させます。そして、本年八月頃に第二次案内を配付して、参加者、旅程、料金を最終的に確定し、本年九月に開催される全国大学書道学会大会の総会でご報告します。なお、研修旅行については、学会ホームページ上でも情報を随時公開しますので、適宜御覧おきください。みなさまのご参加をお待ちしております。

なお、今回は旅行団に参加せず、国際学術交流や研修のみの現地参加も可

とします。お問い合わせフォームにその旨お知らせください。ただし、その場合、国際学術交流にかかるすべてのプログラム(シンポジウム及び交流会等諸行事に必ず参加頂くことを条件とします。そのほかに、シンポジウム昼食代、台北市内の交通費、研修先の参観料(國立故宮博物院・NTD\$350/一人)等は各自手配のうえご負担いただきます。なお、各自手配の場合は、手配に関するご相談は承りかねます。また、旅程上で発生したトラブルについては本学会では責任を負いかねますので、何卒御了承いただきますようお願い申し上げます。

国際学術交流専門委員会

統括責任者	永由 徳夫(理事長)
委員長	小川 博章(副理事長・企画局長)
副委員長	下田 章平(学術局長)
委員	佐々木佑記(学術局常任理事)
	早川 桂央(学術局理事)
	角田 勝久(企画局常任理事)
	関 俊史(企画局理事)
	松尾 治(企画局理事)
	杉山 勇人(事務局局長)
	城間 圭太(事務局理事)
	藤森 大雅(事務局理事)
	草津 祐介(編集局長)
	尾川 明徳(会計局長)
	柳田さやか(会計局常任理事)
	沈 伯陽(会員)
	横田 恭三(会長)
顧問	以上、十六名

- 日 程** 令和7(2025)年3月27日(木)～3月30日(日) 3泊4日
- 旅 程** (今後変更になることもあります)
 3月27日(木) 羽田空港発、松山(台北)空港着。
 何創時書法芸術基金会にて特別閲覧。蕙風堂でお買い物。
 3月28日(金) 午前、國立故宮博物院見学。
 午後、台湾芸術大学にて書法展開幕式、その後交流会(祝宴)。
 3月29日(土) 台湾芸術大学にて1日シンポジウム、書法展鑑賞。
 3月30日(日) 午前、中央研究院歴史語言研究所歴史文物陳列館見学。
 午後、免税店を経て松山(台北)空港発、羽田空港着、解散。
- 費 用** 185,850円(予定)
 ※燃料サーチャージの高下により、今後多少の費用の変更が見込まれます。
 ※一人部屋の場合は、費用(8000円×3泊分)が加算されます。
- 参加申込** 今回の旅行は**会員限定**です。下記フォームより、**令和6(2024)年7月5日(金)**までに申し込みをお願いします。

【第1回国際学術交流(台湾)旅団参加登録用googleフォーム】

<https://forms.gle/DQTjkBupfzezgPxUA>



※フォームでのお申し込みが難しい場合、下記のお問い合わせ先に**メールか、葉書で参加の旨をお知らせください**。折り返しご連絡します。

- お問い合わせ先** 全国大学書道学会 国際学術交流専門委員会 申込窓口(佐々木・関)
 ・メール宛先：2024taipei.allshodo@gmail.com
 ・葉書宛先：〒102-8336 東京都千代田区三番町6-16
 二松学舎大学
 全国大学書道学会 国際学術交流専門委員会 関 俊史 宛

入会申込み案内

入会希望の方、入会希望者をご紹介いただける方は全国大学書道学会ホームページ掲載の入会申込書を記入の上、お申込みください。

全国大学書道学会規約

第二条 本会は、会員と準会員によって構成する。

会員は、国公私立大学の書道を専門とする教員、及び本会の目的に賛同する者とする。

大学院生は、準会員とする。

なお、大学院在籍者、及び本会の目的に賛同して入会を希望する者は、会員の推薦を受け、常任理事会の承認を経なければならない。



QRコードをよみとると入会申込書のページに接続します。